

秋

vol.73

2020.10

My Polaris
伊元祐貴先生の
ポラリス

ポラリス(北極星)を目指すには
北極星を見分けること。
目指すところ(方向)は一緒でも
やり方はそれぞれ多種多様。
一人一人の思いをエッセイの形で
伝えたい。

ときめき
Beating
Kashima
鹿島



新任のご挨拶

診療部医局 医師 伊元 祐貴

本年8月から非常勤、10月から常勤として赴任しました。

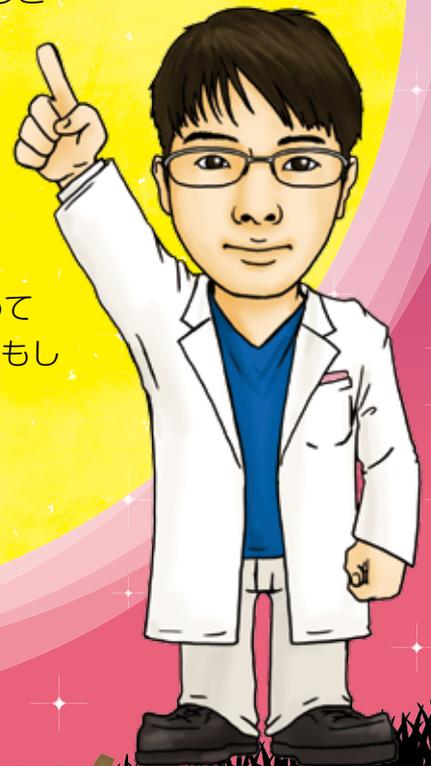
以前は島根大学医学部附属病院の放射線治療科にいましたが、ご縁があって鹿島病院で勤務させていただくこととなりました。

私と鹿島病院との関わりは2017年に松江日赤の研修医として地域医療研修でお世話になったことに始まります。日赤で急性期の勉強ばかりしていた頃であり、亜急性期・慢性期医療について本格的に触れた最初の経験となり、大いに勉強になった研修でした。

研修医を終えた後は大学に勤務し、ひたすら癌に放射線を当て続ける毎日を過ごしていました。それはそれで一定の面白さはあったのですが、方向性の違うことをやってみたいという思いがだんだんと強くなっていました。そこで当直などで細々とご縁が続いていた鹿島病院に雇ってもらえませんかをお願いしたところ、快く受け入れていただいたというのが入職の経緯になります。

なにぶん経験も浅く、至らぬ点多いかと思います。遠慮なくご指導いただければと思います。

私事ですが最近女の子が生まれました。子育ても初めてのことでして、皆さんに色々相談させていただくかもしれません。どうぞよろしくお願いいたします。



院内感染対策講習会

講師 松江赤十字病院感染症科
成相 昭吉先生

8/3(月)に松江赤十字病院感染症科 成相昭吉先生を講師にお迎えし「正しく怖れて新型コロナウイルスに対応する有用な感染予防対策と冬への準備」の内容で院内感染対策講習会を実施しました。

アンケートの結果については「大変参考になった」が、大半を占めました。

研修に参加した職員の感想は以下のとおりです。



●ありがとうございました。今までとは違った視点で勉強できました

●新しい知識と今の知識が整理できてよかった

●漢方薬が有効というのは意外でした

●難しい部分が多いが、勉強になった

●知らないことを詳しく聞かせて頂きありがとうございました

●大変難しい内容でしたが、マスク、手洗い、距離を守ろうと思います

●新型コロナウイルスについて様々なことを知ることが出来、良かったです

●大変勉強になりました。漢方の効果とても気になります

●最近の情報を知ることが出来てよかった

●大変参考になりました。ありがとうございました。マスクと手指消毒の大切さを改めて思いました

●マスク、手指消毒が大切であり、有効なことを改めてわかった

●難しい話もありましたが聞き入りました。ありがとうございました。

●コロナウィルスに対して知らないことが多かった。必要以上に怖がることなく、基本的な対策が必要だと思いました

●漢方薬が効くのに驚きでした

●とてもわかりやすく説明して頂きました。怖がるばかりでしたが、少し安心できました。参考になることがたくさんあったので実際にできるようにしたいです

●これまでの感染対策の経過や臨床像がわかりやすくまとまっていて理解しやすかったです

●とても勉強になりました。子供の話も含めて話して下さりとても有難かったです

●これから冬に向けての対策はどうか不安だったが、少し分かった気がしました。ありがとうございました。

研 修 医 地 域 医 療 研 修 を 終 え て

松江市立病院 研修医 山根 文也

鹿島病院での研修を終えて

令和2年9月に1ヶ月間鹿島病院で研修させていただきました。自分は松江市立病院で研修しています。松江市立病院は急性期病院で慢性期

病院に患者様を紹介することはあってもその後の経過を見る機会は少なく、正直慢性期の医療というものを漠然としかイメージできておりませんでした。自分が今まで体験してきた急性期病院とは違い、他職種でのカンファレンスも多くコミュニケーションが密になされており、患者さんの状態、今後の展望等を医療職者全体で共有し、1つの目標に向かっていくのは大変素晴らしいと感じました。

1つの職種では患者さんを見る角度がどうしても狭くなってしまうので他職種

で患者さんを見た情報を共有すれば多角的に見ることができよりよい方向に患者さんを導けるのではないかと大変参考になりました。この鹿島病院で経験できたことを今後の自分の医師人生に生かしていけたらと思います。1ヶ月の短い間でしたがありがとうございました。



往診時の様子



医局と集合写真

回復期リハビリテーション病棟のデータ報告

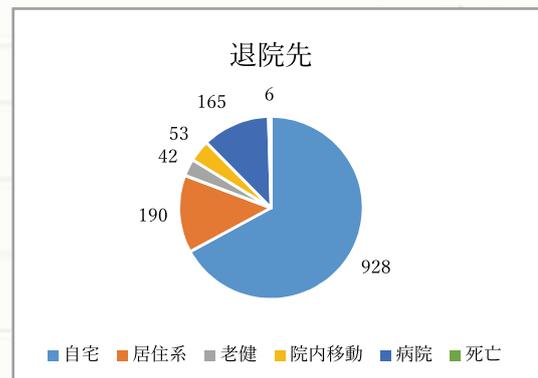
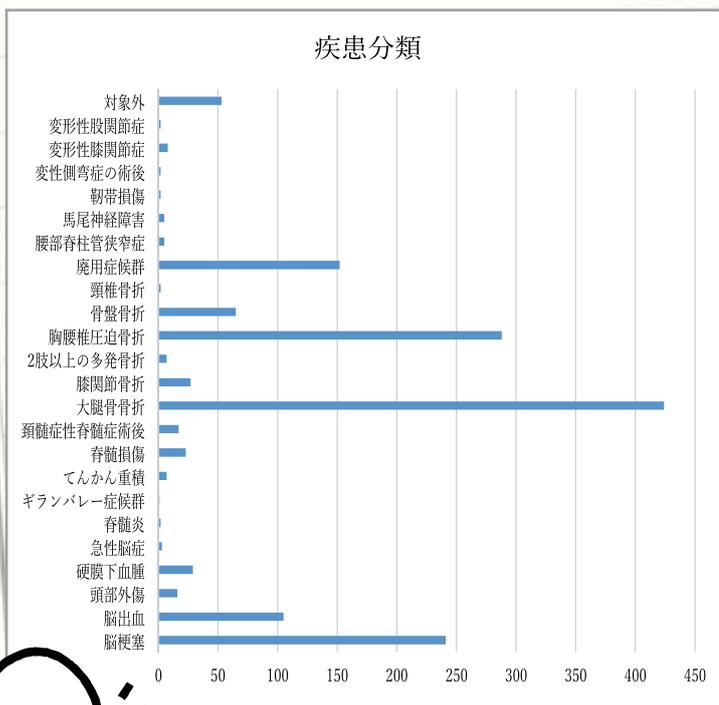
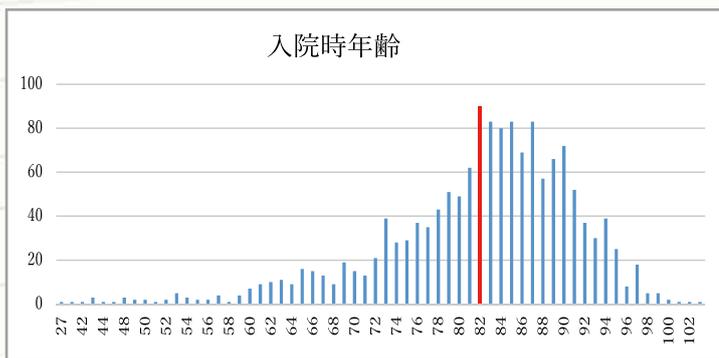
医療相談部 金田 直樹

病床の機能分化と再編が進む中、回復期リハビリテーション病棟のニーズは極めて高いとされ、当院は平成20年から開始しました。そこで当院の回復期リハビリテーション病棟がどのような傾向にあるのか過去のデータから一部ではありますが、ご報告したいと思います。データは2013年4月1日～2019年9月30日の期間で回復期リハビリテーション病棟に入院された患者1486名（対象外含む）です。

スライドは入院時年齢です。年齢は82歳が最も多く、80代が多くを占めています。70代と90代は同じくらいの人数でした。当院の平均年齢は81.8歳ですが、全国の平均年齢は76.2歳（2017年度）なので、高齢者が多いことがわかります。

疾患分類は大腿骨骨折が414名と一番多く、その次は胸腰椎圧迫骨折が288名でした。脳梗塞は241名、脳出血は105名となっています。

退院先内訳は自宅が928名で、在宅扱いとなる居住系施設（特別養護老人ホームを含む）は190名でした。急性期病院や一般病棟への転院も165名いましたが、一時期に施設基準として看護必要度（A項目）が必要であったため、医療依存度のある方の受け入れもしていたことが要因としてあるかもしれません。在宅復帰率は死亡や急性増悪での転院は除外となるため、約87%でした。



当院では全国の回復期リハビリテーション病棟と比べると高齢の患者が多いが、アウトカムの実績や在宅復帰率などはクリアしていて好成績です。今後の回復期リハビリテーション病棟は回復期機能だけでなく、亜急性機能も兼ねてくると予測され、早期の受け入れやリハビリ・看護の体制の強化をしていくことが必要です。また医療や看護、リハビリの質が求められている今日において当院の質の向上のみではなく、地域の開業医、ケアマネジャー、施設等と連携していくことも重要だと考えています。





医師事務 補助者研修

事務部 石倉 弘美

この度は医師事務補助者研修を受講させていただきありがとうございます。幼い子供がいるため大阪での宿泊を伴う研修を受講することが難しく、しばらく受講は出来ないだろうと思っていたのですが、今回オンライン研修に変更となった事で受講することが出来ました。この機会を大切に、しっかり学びたいと思います。

事務部 熊谷 愛美

今回はオンラインでの開催でしたが、事前配布された資料だけでは分からなかった部分も、講師の方の解説を聞きながら資料を読み解くことで理解できた部分も多くありました。講義では業務内容だけでなく、医療従事者として必要な様々な知識についても触れられており、学びの多いとても貴重な経験となりました。自分に足りない知識はまだ多くありますが、今回の研修で学んだことをいち早く活かせるよう、日々の業務に励んでいきたいと思っています。

WEB研修の様子



研修参加者
集合写真



事務部 山下 陽子

医師の代行入力や診断書の作成補助などができる、医師事務作業補助者の研修を7/20から5日間かけて行いました。本来なら県外に出向いて研修を受ける予定でしたが、コロナウイルスの影響で今年はパソコンを使って行うリモート研修となりました。毎日パソコンとにらめっこしながら行う研修は大変でしたが、貴重な経験となりました。

秋から冬に向けた

院内感染防止対策委員会 検査科 平井 多恵

新型コロナウイルス・インフルエンザ感染対策

毎年、秋ごろから感染が増え始め冬に流行するインフルエンザですが、今年は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。

今年、新型コロナウイルスの流行により「新しい生活様式」が私たちの身の回りでも始まりました。

感染対策として身近になった、3つの密（密閉・密集・密接）の回避、マスクの着用、石鹸による手洗いや手指消毒アルコールによる消毒や咳エチケットの励行は、インフルエンザの感染予防にも有効と言われています。

■「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避

他の人と十分な距離を取る!

2メートル

飲食店でも距離を取りましょう!

- ・多人数での会食は避ける
- ・隣と一つ飛ばしに座る
- ・互い遠くに座る

会話をするときはマスクをつけましょう!

5分間の会話は1回の咳と同じ

■石鹸による手洗いや手指消毒アルコールによる消毒

正しい手の洗い方

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

■部屋の換気

窓やドアを開けこまめに換気を!

■咳エチケットの励行

咳エチケット

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

- × 何もせずに咳やくしゃみをする
- × 咳やくしゃみを手でおさえる
- マスクを着用する（口・鼻を覆う）
- ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- 袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ゴムひもを耳にかける
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ・周囲の人からなるべく離れます。

これらの感染対策を
しっかり行い、
これからの季節を
のりこえましょう。



引用：首相官邸ホームページ「新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～」
(令和2年10月8日)より



ひき肉たっぷり夏野菜カレー(中辛)

職員の感想

- 美味しくいただきました(^^)黄色いご飯もビタミンカラーで元気をもらいました。見た目も量も辛さも良かったです。またこのような機会があれば是非注文させていただきます。ありがとうございました。
- 大変美味しくいただきました。鹿島食堂フラッグの元に輝いている夏野菜サフラン米。ありがとうございました。次回の期待度アップ。

栄養課では、患者様に提供する食事の試作を兼ねて7月から毎月希望する職員に数量限定でランチの販売をしています。

鹿島食堂 Open!



豚の角煮丼

職員の感想

- どこかの有名店のような完成度でした。満足です。ありがとうございました。
- お肉が軟らかくてとてもおいしかったです。ありがとうございました。
- ごちそうさまでした。おなかいっぱい、大満足でした。ありがとうございました。
- すっごくおいしかったです。お肉も肉厚で軟らかくてとてもおいしかったです。300グラムのご飯も満足でした。ごちそうさまでした。



枝豆の冷製ポタージュ



公仁会事業報告 (R2年7月～R2年9月)

※退院日は除く

患者重症度指数 強化項目 リハビリ数

鹿島病院 ①外来

| | |
|-----------|----------------|
| (診療日数92日) | 1日平均患者数 |
| 延べ外来患者数 | 1,017人 11.0人/日 |

②病棟 2F特殊疾患病棟

| | |
|----------------|----------------|
| (診療日数92日) | 1日平均患者数 |
| 延べ入院患者数 | 5,104人 55.4人/日 |
| レスピレーター装着延べ患者数 | 1,768人 19.2人/日 |
| ①脊髄損傷等の重度障害 | 547人 5.9人/日 |
| ②重度意識障害 | 2,243人 24.3人/日 |
| ③神経難病 | 1,623人 17.6人/日 |
| ④筋ジストロフィー | 26人 0.2人/日 |

| | |
|-----------------|-------|
| 3か月間の特殊疾患対象患者割合 | 84.6% |
|-----------------|-------|

3F回復期リハ病棟

| | |
|---------------|----------------|
| (診療日数92日) | 1日平均患者数 |
| 延べ入院患者数 | 4,412人 47.9人/日 |
| 回復期リハ病棟対象患者割合 | 99.7% |
| 平均リハ提供単位数 | 5.7 |

| | | | |
|---------------------|--------|-------|-------|
| 直近6か月間の新規入院患者 | 重症者の割合 | 119人 | 48.7% |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合 | | 92.1% | |
| 直近6か月間の重症改善率 | | 77.3% | |
| 直近6か月間のアウトカム実績指数 | | 50.1点 | |

4F療養病棟

| | |
|---------------------------|----------------|
| (診療日数92日) | 1日平均患者数 |
| 延べ入院患者数 | 2,192人 23.8人/日 |
| 直近3か月間の医療区分2・3の患者割合 | 85.1% |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合(4F全体) | 82.5% |

4F地域包括ケア病棟

| | |
|---------------------|----------------|
| (診療日数92日) | 1日平均患者数 |
| 延べ入院患者数 | 2,290人 24.8人/日 |
| A・C項目患者の割合 | 18.1% |
| 平均リハ提供単位数 | 2.6 |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合 | 83.3% |
| ショートステイ延利用者数 | 21人 0.2人/日 |

在宅サービス部

①通所リハビリ“やまゆり”

| | |
|-------------|----------------|
| (稼働日数79日) | 1日平均利用者数 |
| 通所リハビリ延利用者数 | 2,975人 37.7人/日 |
| 短期集中リハビリ実施数 | 369単位 4.7単位/日 |

②訪問リハビリ“つばさ”

| | |
|--------------|---------------|
| (稼働日数60日) | 1日平均利用者数 |
| 訪問リハビリ延べ利用者数 | 232人 3.9人/日 |
| 訪問リハビリ延べ単位数 | 486単位 8.1単位/日 |

③訪問看護“いつくしみ”

| | |
|-----------------------|-------------|
| (稼働日数61日) | 1日平均利用者数 |
| 訪問看護延利用者数(医療) | 284人 4.7人/日 |
| 訪問看護延利用者数(介護・看護) | 540人 8.9人/日 |
| 訪問看護延利用者数(医療・介護・リハビリ) | 255人 4.2人/日 |

④鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

| | |
|--------------|-------------|
| (稼働日数60日) | 月平均策定数 |
| 延べケアプラン策定数 | 427人 142人/月 |
| 延べ介護予防ケアプラン数 | 168人 56人/月 |



- ①部署・職種 ②趣味・特技は何ですか？
- ③好きなもの・好きなことを教えてください。
- ④一言ご挨拶をお願いします。

入職 50音順



伊元 祐貴

- ①診療部医局・医師
- ②画像診断は割と得意です。
- ③犬(飼いたいけど妻が許してくれませぬ)・飲み会
- ④よろしくをお願いします。他の先生方と比べると未熟者ですが、若さで補っていききたいと思えます。



亀島 春奈

- ①訪問看護在宅サービス部・看護師
- ②旅行・ドライブ・音楽を聴くこと
- ③甘いスイーツや美味しいものを食べる
- ④丸4年病棟勤務の経験を経て、在宅看護に興味を持ち入職しました。未経験のため分からないことはばかりですが、在宅で過ごしておられる利用者のために一から知識や技術を身につけていきたいと思えます。よろしくをお願いします。



瀧本 千春

- ①診療部栄養課・調理師
- ②登山、写生。昨年は富士山に登頂しました。
- ③畑仕事、庭・花の手入れ。
- ④8月から夫の出身地である島根県に移住しました。今年取得した調理師免許を活かして？患者様の食事を作り、健康になるための手助けをしたく入職しました。集団調理は未経験ですが、皆さんをお手本に日々勉強してまいります。ご指導よろしくお願致します。



仲奥 健二

- ①看護師3F病棟・介護福祉士
- ②カメラ
- ③旅行・写真を撮ることが好きです
- ④病院勤務は初めてで分からないことが多いですが、1日でも早く仕事を覚えて戦力になりたいと思えますのでよろしくをお願いします。



森山 希美

- ①診療部栄養課・管理栄養士
- ②旅行
- ③買いのもの
- ④1日でも早く業務に慣れ、患者様の力になれるよう頑張ります。よろしくをお願いします。



三賀森 麻美

- ①薬剤部・薬剤師
- ②音楽鑑賞
- ③鉄道(子どもと見に行ったりします)
- ④一日でも早く業務を覚えて、頑張っていきたいと思えます。随分と久しぶりの勤務なので、ご指導よろしくをお願いします。



安田 紘明

- ①看護部2F病棟・介護福祉士
- ②カラオケ・器械体操
- ③子どもと遊ぶこと
- ④病院で勤務するのは初めてですが今までの介護の経験を活かしてまいります。早く慣れる様に頑張ります。よろしくをお願いします。



吉岡 由佳里

- ①看護部4F病棟・看護師
- ②ガーデニング
- ③食べ歩き(何でも好きです)
- ④これまでに色々な所で経験してきました。子どもたちから“お母さんかっこいいなあ”と言われるよう、一日でも早く業務に慣れ、日々頑張っていきたいと思えます。ご指導よろしくをお願いします。



寺本 美智子

- ①訪問看護在宅サービス部・看護師
- ②旅行・ドライブ
- ③美味しいものを食べる
- ④訪問看護は初めてですが、以前より興味がありチャレンジしてみようとの度入職しました。在宅療養生活を支え、利用者様に寄り添った看護をしたいと思っています。いつも笑顔で頑張ります。よろしくをお願いします。

退職

佐々木 亮(診療部医局) / 舟木 厚子(看護部)
板垣 晶子(在宅サービス部訪問看護) / 森脇恵美子(診療部栄養課)

昇進

看護部看護課課長代理 小村 和美(看護部係長)
看護部介護課課長代理 川本 弘信(看護部係長)
看護部介護課課長代理 今田 直志(看護部係長)
事務部企画経理課課長代理 瀧倉 洋子(事務部企画経理課係長)
看護部係長 谷尻 健(看護部主任)
看護部係長 須磨田理恵(看護部主任)
看護部係長 南 祐子(看護部主任)
看護部係長 曾我 伸也(看護部主任)
看護部主任 伊藤 美紀(看護部)
看護部主任 井谷 祥久(看護部)
看護部主任 森脇 望(看護部)
看護部主任 山道 高行(看護部)

正規職員登用

小笹 博美(看護部介護職員)
三原 洋子(看護部介護職員)

職員数

2.10.1現在

| 職種 | 職員数(名) |
|------------|--------|
| 医師 | 6人 |
| 薬剤師 | 3人 |
| P | T 24人 |
| O | T 18人 |
| S | T 6人 |
| 看護師(准看護師) | 90人 |
| 臨床検査技師 | 2人 |
| 診療放射線技師 | 1人 |
| M S W | 6人 |
| 介護支援専門員 | 6人 |
| 介護福祉士 | 58人 |
| 歯科衛生士 | 2人 |
| 管理栄養士(栄養士) | 5人 |
| 調理員 | 11人 |
| 事務職員 | 21人 |
| 合計 | 259人 |

寄贈していただきました

- テクノプロジェクト(株)様より 抗菌シート
- 鹿島島根ライオンズクラブ様より 自動消毒噴霧器





医療法人財団公仁会中期ビジョン2019

医療・介護が一体となり、リハビリテーションを柱としたサービスを展開し、急性期病院をはじめとする医療機関・介護事業所・行政機関との連携を軸に、橋北地区の地域包括システムを支える。

<ビジョン策定の主旨>

高齢化に伴う疾病の多様化・重度化さらにリハビリテーションの要求に応え、橋北地区における地域包括ケアシステムの中核病院として入院医療と在宅医療を継続的に提供するため、中期ビジョン2019を策定する。

<本計画の期間>

この計画は2019年4月から2022年3月までの3年間を期間とする。

1. 良質な回復期・慢性期医療

(1)回復期医療

回復期リハ病床を中心としたリハビリテーションの更なる充実に加え、地域包括ケア病床での短期リハビリテーションを組み合わせることで地域の回復期医療を担う。

(2)慢性期医療

特殊疾患、医療療養病床で難病、医療依存度の高い患者への対応を行い、地域包括ケア病床で入院加療を必要とする高齢患者に準急性期医療を提供することにより地域の慢性期医療を担う。

(3)質の高いリハビリテーション

回復期リハ・地域包括ケア病床でのリハビリテーションを外来・通所・訪問のリハビリテーションに繋げていくことで、地域におけるリハビリテーションを総合的に行う。

(4)外来・訪問診療

入院診療を支えるため、外来のみならず訪問診療を訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、通所リハビリとの連携で充実させる。

2. 在宅生活を支える医療・介護

(1)良質な在宅医療

患者にとって「安心な支える在宅医療」を促進するため、外来・訪問診療と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携を一層進める。

(2)良質な在宅支援サービス

外来部門、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所ならびに通所リハ、外来リハ、訪問リハが質・量ともに向上し、リハビリテーションを柱とした質の高い医療・看護を提供する。

3. 地域連携 及び 地域貢献

(1)病病連携、病診連携、地域（行政（県・市・保健・福祉・介護）、地区）連携

急性期病院や地域の診療所と継続的・定期的な意見交換会を実施するなど顔の見える連携の更なる強化を行う。また、行政との連携を深め、周辺地区事業にも積極的に関わる。

(2)予防医療や介護技術を地域へ普及

地域住民への啓発活動や医療・介護関連職種に対する勉強会等を通じて、地域に積極的に知識を還元していく。

(3)地域への情報発信

病院の機能や在宅サービス機能、治療成績、行事等についてホームページや広報誌等を活用して、積極的に情報発信を行い公仁会のブランド力を高める。

4. 医療安全・院内感染対策

(1)医療安全

医療・介護サービスを提供する全ての方へ医療安全を担保することは前提条件であり、日常から緊張感をもって業務改善に努める。

(2)院内感染対策

院内感染が起こってからの対策のみならず「発生しないための対策」「予防策をいかに取るべきか」院内感染防止対策委員会の活動だけでなく日頃からの予防教育を継続する。

5. 医療サービスの質の改善

(1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動

日本医療機能評価機構の実施する病院機能評価3rdGV2.0への参加が決定し2020年1月に更新受審する予定である。日頃の診療行為等の見直しを図り、医療サービスの質の向上に努める。

(2)臨床指標（Clinical Indicator）の活用

診療報酬体系がストラクチャー評価からアウトカム評価重視へ移行する過渡期の中で、当院のアウトカムである在宅患者受入れ率や在宅復帰率、リハ効率、医療区分割合、医療看護必要度、訪問診療回数などを院内外に積極的に発信していく。

(3)患者満足度向上の組織的取組み

継続的なアンケート調査を行い患者ニーズの把握に各部署務め、満足度向上のため継続的に努力する。

(4)施設・設備・環境の整備と充実

患者のQOLに資すること、並びに職員の働きやすい環境の整備を計画的に進める。

6. 人材の確保と育成

(1)人材の確保

良質な医療・介護をより向上させる為、必要人材を適時適切に確保する。

（特に医師は現在の構成を顧みれば確保は急務である。また、薬剤師、看護職員、介護職員においても各々の自己研鑽だけでなく新たな人材の受入が必要である。）

(2)人材の育成

研修会、研究会への参加は今後も計画的・継続性をもって行い、各人の一層のレベルアップを行う。

(3)働き方改革への対応

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」に沿った労働環境を整備し、働きやすい環境作り、離職防止の取組、キャリアアップサポート、福利厚生事業の充実など、魅力ある職場づくりを行う。

(4)学生の受入れ

学生実習の積極的受入れを行い職員のレベルアップを促すとともに、採用機会を増やすような取組みを引き続き行う。

7. 新電子カルテシステムの検討

CIMA/LinkCare、医事システム Hope のハード更新を2022年に控え、今後の電子カルテシステムはどうあるべきか検討委員会を立ち上げて検討する。



第2弾



Q.おうち時間を どう過ごして いますか？

A

診療部 平井 多恵さん

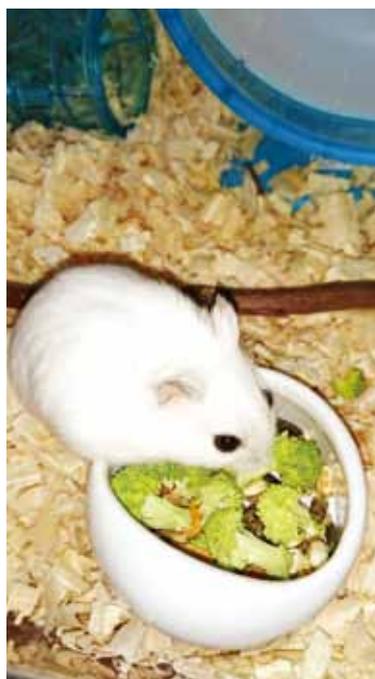
空いた時間を利用してエコパックを作ってみました



A

看護部 渡部 英子さん

我が家のハムスター（パールホワイト女の子 1才3か月）
ポンポンちゃんに癒される毎日です



編集後記

新型コロナウイルスに影響を受けた
2020年もあと2か月になりました。今

まで当たり前だったものが覆され、新しい生活様式、働き方、価値観も生まれたように感じます。各医療機関でも制限や変化が必要となり、患者様・ご家族様はもちろんのことながら、職員も今までのような関わりや支援が提供しにくいことに悩み、ストレスや負担が生じたように思います。来年も各業界で形を模索しながら、誰もが変化に対応していかなければならないのですが、心身は元気に明るく穏やかに過ごしていきたいものですね。

来年は、少しでも日常が戻ることを願うとともに、引き続き体調管理・感染予防に気を付けていきたいと思えます。

広報委員会

■編集・発行・責任者：広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分243-1

e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/

鹿島病院 TEL(0852)82-2627(代) FAX(0852)82-9221

訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL・FAX(0852)82-2640

やまゆり居宅介護支援事業所 TEL・FAX(0852)82-2645

通所リハビリテーション(やまゆり) TEL・FAX(0852)82-2637

訪問リハビリテーション(つばさ) TEL・FAX(0852)82-2637

■印刷元 柏村印刷株式会社

